

バリデーションチェックツール

操作マニュアル

1.0 版

2024 年 5 月

はじめに

本ツールは、Microsoft®Windows 上で動作するツールです。

本書は、「バリデーションチェックツール」の操作手順を解説した操作マニュアルです。

ご注意

- ・本書の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・本書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一誤りや記載もれなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。

Microsoft、および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

もくじ

第1章 ご利用にあたって.....	2
1.1 ツールの概要.....	3
1.2 ご利用可能環境と利用条件.....	4
1.2.1 環境条件.....	4
1.2.2 ファイル種類.....	4
1.2.3 XML バージョン.....	4
1.2.4 ファイル文字コード(改行コード).....	4
1.2.5 読込可能ファイルサイズ.....	4
1.3 ツールのインストールについて.....	5
第2章 バリデーションチェックツールの操作方法.....	6
2.1 バリデーションチェックツールの起動.....	7
2.2 確認ファイルの選択.....	8
2.3 フォーマットチェックの実行.....	11
2.4 エラー一覧ファイル出力.....	14
2.5 エラーXML ファイル出力.....	17
2.6 バリデーションチェックツールの終了.....	20
第3章 エラー発生時の対処方法.....	22
3.1 起動時のエラーについて.....	23
3.2 ファイル読込時のエラーについて.....	24
3.3 ファイル解析時のエラーについて.....	25
3.4 ファイル解析が中断するエラーについて.....	26
3.5 ファイル出力時のエラーについて.....	30
3.6 その他の例外エラーについて.....	31
別紙.....	32
MX ファイルチェックエラー一覧.....	33

第1章

ご利用にあたって

この章では、ご利用にあたっての説明をいたします。

- ツールの概要
- ご利用可能環境と利用条件
- ツールのインストールについて

1.1 ツールの概要

「バリデーションチェックツール」とは、お客さまが作成した XML 形式の送金依頼データファイルを投入することで、XML の構造チェック(エレメント名、エレメント階層化構造・構成、必須項目、入力桁数、入力文字等)にご利用いただけるみずほ銀行独自ツールです(CSV 形式は対象外)。

接続テストや当行への送金依頼開始前に、送金依頼データファイルの形式チェックを実施することで、データ不備等に早期に気付くことができ、お客さまのシステム開発を円滑に進めることをサポートします。

「バリデーションチェックツール」は、当行からご案内した「みずほ版外国送金フォーマット(XML 形式).excel」の以下表の内容の形式チェックを実施します。

加えて、ISO 版 ADP を利用のお客さまにおいては、当行からご案内した(株)NTT データの「AnserDATAPORT®仕様書一式」の「JX 手順_接続インタフェース解説書【加入者編】_別紙_ファイルフォーマット」のシート「BAH」についても、以下表の内容の形式チェックが可能です。

*AnserDATAPORT®は、株式会社エヌ・ティ・ティ・データにおける登録商標です。

Excel 上の列	C~P 列	Q 列	R 列	S 列	T 列	U 列	V 列	Y~Z 列
項目名	XML Tag	Or	Mult	TYPE	MIN	MAX	制限値	各タグの利用可否
例)	<Nm>		[1..1]	Text	1	140	{1,140}	必須
チェック内容	タグ名称・順番	選択条件	繰り返し回数	データ型	最小桁数	最大桁数	制限値	必須項目設定有無

*全体のトランザクション件数、送金金額の桁数、データ形式等の一部項目について、X 列「タグの説明」記載内容についてチェックしている場合があります(別紙「MX ファイルチェックエラー一覧」の★を付した項目が対象です。)

※法人向け EB サービス別のフォーマットは以下 URL からダウンロードください。

「ホストコンピュータサービス(一括伝送)」「パソコンサービス(一括伝送)」をご利用のお客さま

https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/oshirase/iso20022_adp/anserdataport.html

「みずほ e-ビジネスサイト(アップロード方式)」をご利用のお客さま

https://www.mizuhobank.co.jp/special/iso20022_ebs.html

なお、本ツールで確認できる範囲は形式的なチェックのみになります。業務的なチェック(お客さま番号や口座番号が実在しているか、送金指定日が銀行営業日か、項目間の相関関係が正当か等々)はできません。送金指定日を入力するタグである<Dt>に「2000-01-01」と入力した場合、形式は合っているため本ツールではエラーとなりませんが、実際に当行へ送金依頼する際には過去の日付であるためエラーとなります。

1.2 ご利用可能環境と利用条件

1.2.1 環境条件

バリデーションチェックツールの環境条件は以下の通りです。

- ・対応 OS: Windows10
Windows11
- ・推奨メモリ: 4GB(ギガバイト)以上
- ・アカウント権限: 規定なし
- ・ディスプレイ最小解像度: 1024 × 768 ピクセル

1.2.2 ファイル種類

バリデーションチェックツールで利用可能な MX ファイルのフォーマットは以下の通りです。

- ・pain.001.001.09(含む、BAH(Business Application Header))
- *XML ファイルは、ISO20022 に準拠した新たな電文フォーマットを意味します。

1.2.3 XML バージョン

XML のバージョンは 1.0 です。

1.2.4 ファイル文字コード(改行コード)

バリデーションチェックツールで利用可能な MX ファイルの文字コード(改行コード)は以下の通りです。

- ・UTF-8(CRLF)
- ・UTF-8(CR)
- ・UTF-8(LF)
- ・UTF-8(なし)

1.2.5 読込可能ファイルサイズ

最大ファイルサイズ: 20MB

1.3 ツールのインストールについて

インストール作業は必要ありません。

バリデーションチェックツール(MXCheckTool.exe)を起動することでご使用いただけます。

※本ツールが圧縮(ZIP ファイル化)されている場合は、展開してから起動してください。

第2章

バリデーションチェックツールの操作方法

この章では、バリデーションチェックツールの操作方法を説明します。

- バリデーションチェックツールの起動
- 確認ファイルの選択
- フォーマットチェックの実行
- エラー一覧ファイル出力
- エラーXML ファイル出力
- バリデーションチェックツールの終了

2.1 バリデーシオンチェックツールの起動

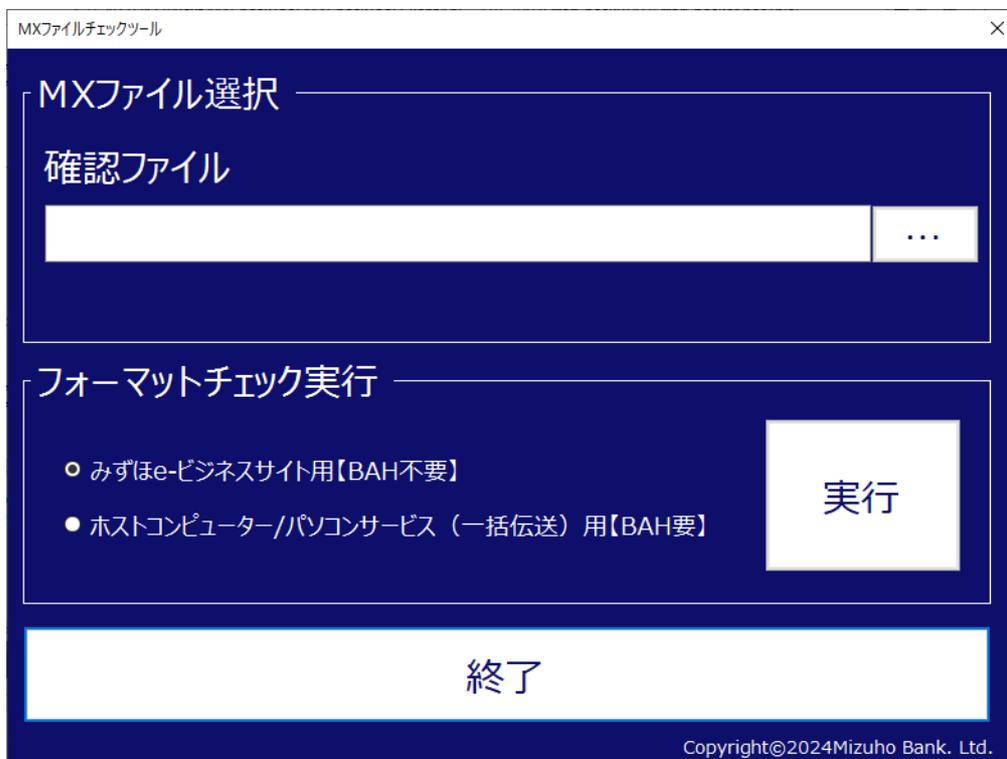
バリデーシオンチェックツールを起動します。

操作手順

1. ツール格納フォルダから「MXCheckTool.exe」をダブルクリック、または右クリック⇒「開く」を選択します。



2. バリデーシオンチェックツールが起動します。



2.2 確認ファイルの選択

確認する MX ファイルを選択します。

※確認ファイル欄に直接入力、ファイルをドラッグ & ドロップで選択することも可能です。

操作手順

1. 画面右上の「…」(ファイル選択)ボタンをクリックします。

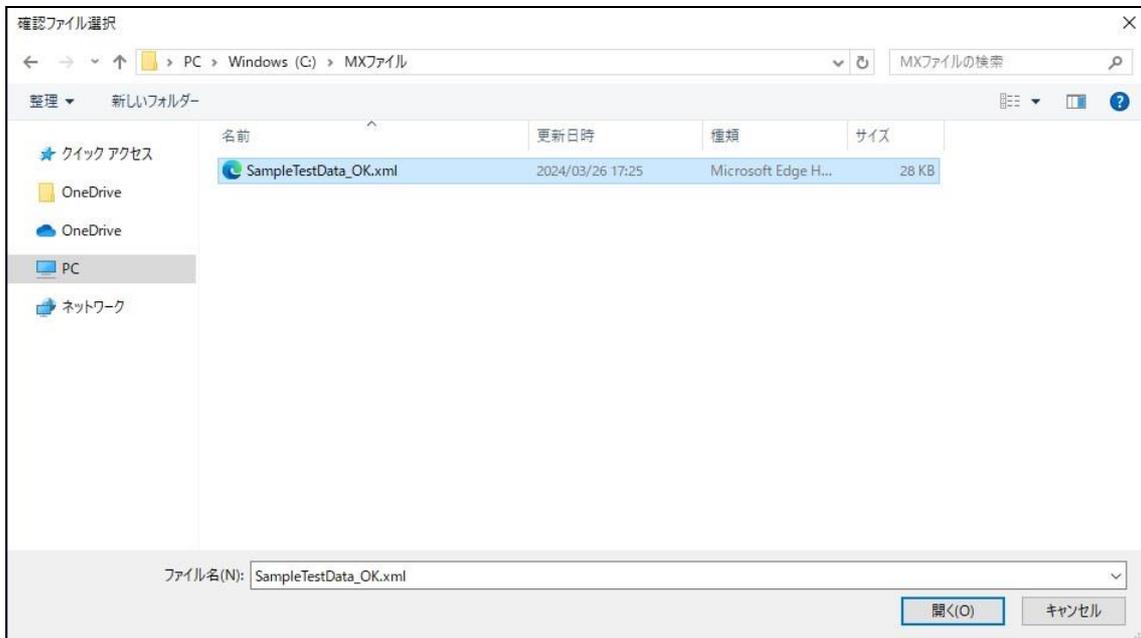


画面上の操作箇所

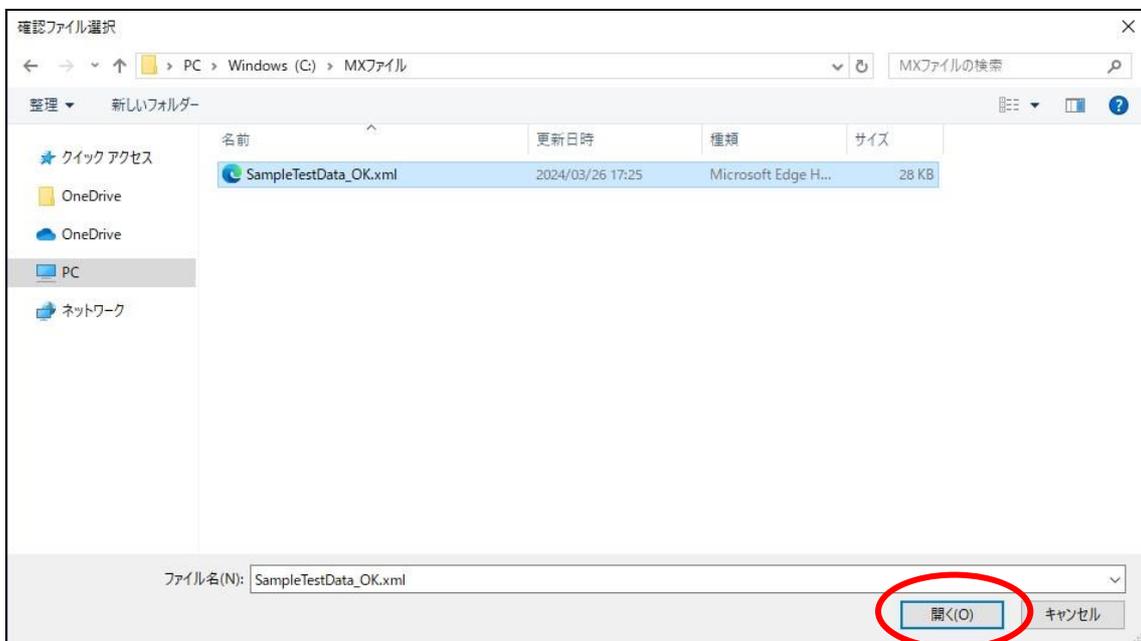
<MX ファイル選択>

項目	説明
ファイル選択ボタン	入力ファイルを選択してください。

2. 「確認ファイルの選択」ダイアログが開きます。



3. MX ファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



4. 選択されたファイルのパスが設定されます。



画面上の反映箇所

<MX ファイル選択>

項目	説明
確認ファイル	確認ファイルのパスを設定してください。

2.3 フォーマットチェックの実行

選択された MX ファイルのフォーマットチェックを実行します。

操作手順

1. 「形式選択」ボタンにてチェックする MX ファイルの形式を選択します。

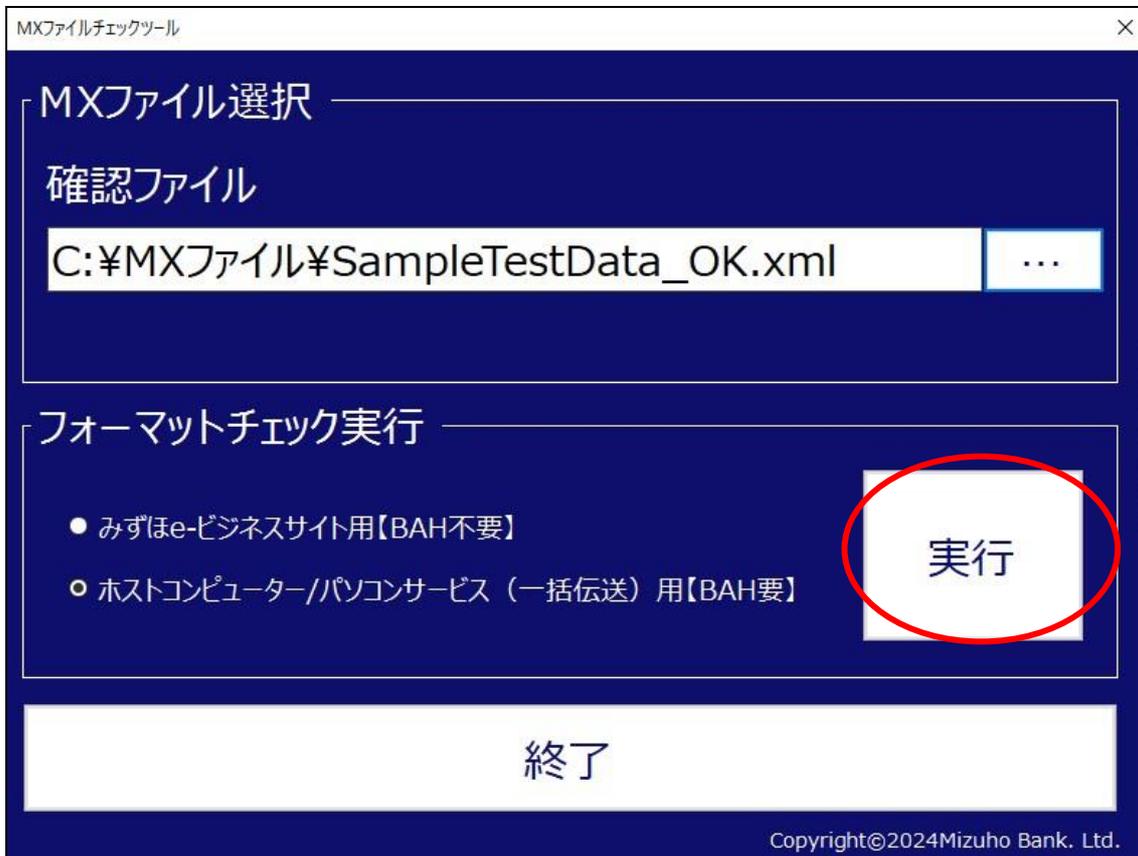
・初期表示では、「みずほ e-ビジネスサイト用【BAH 不要】」が選択されています。

画面上の操作箇所

<フォーマットチェック実行>

項目	説明
形式選択	BAH を含む MX ファイルか、BAH を含まない MX ファイルかを選択してください。

2. 「実行ボタン」をクリックします。

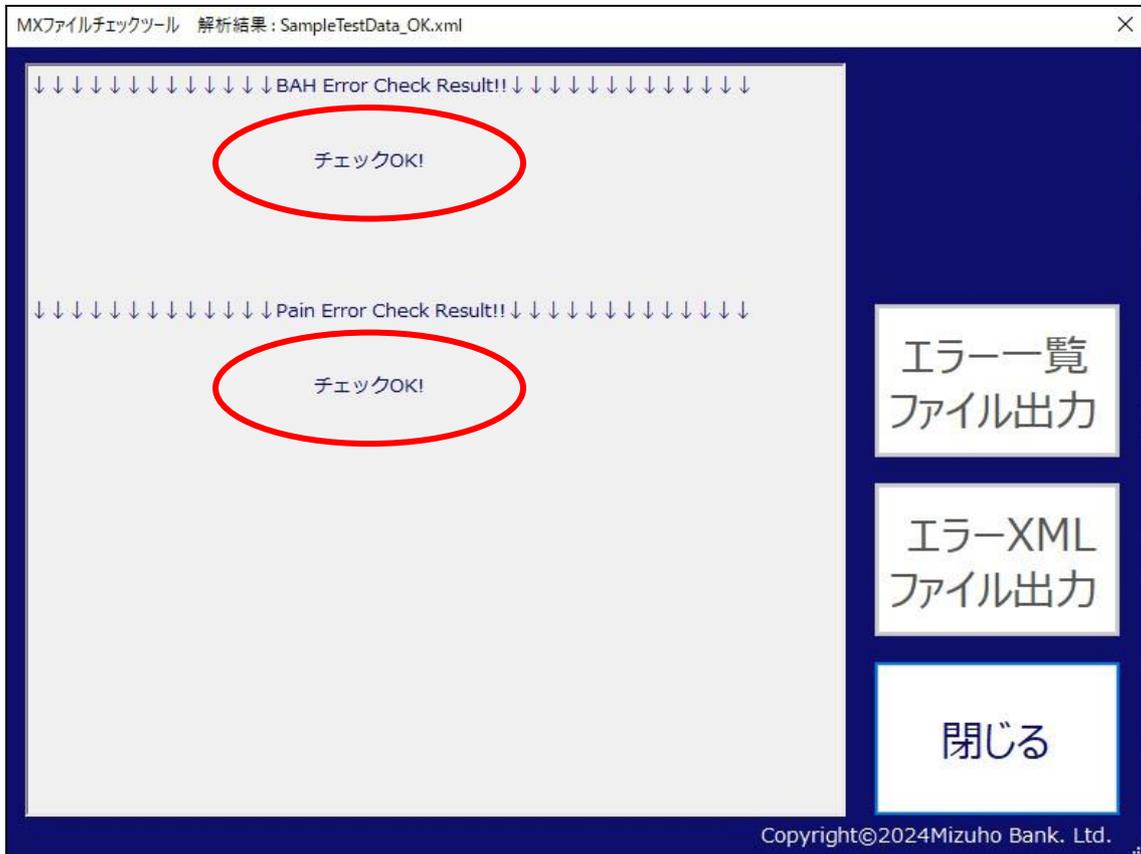


画面上の操作箇所

<フォーマットチェック実行>

項目	説明
実行ボタン	MX フォーマットのチェックを実行します。

3. MX ファイルのフォーマットチェック解析結果が表示されます。



画面上の反映箇所

<出力情報>

項目	説明
解析結果	フォーマットチェックの解析結果が表示されます。

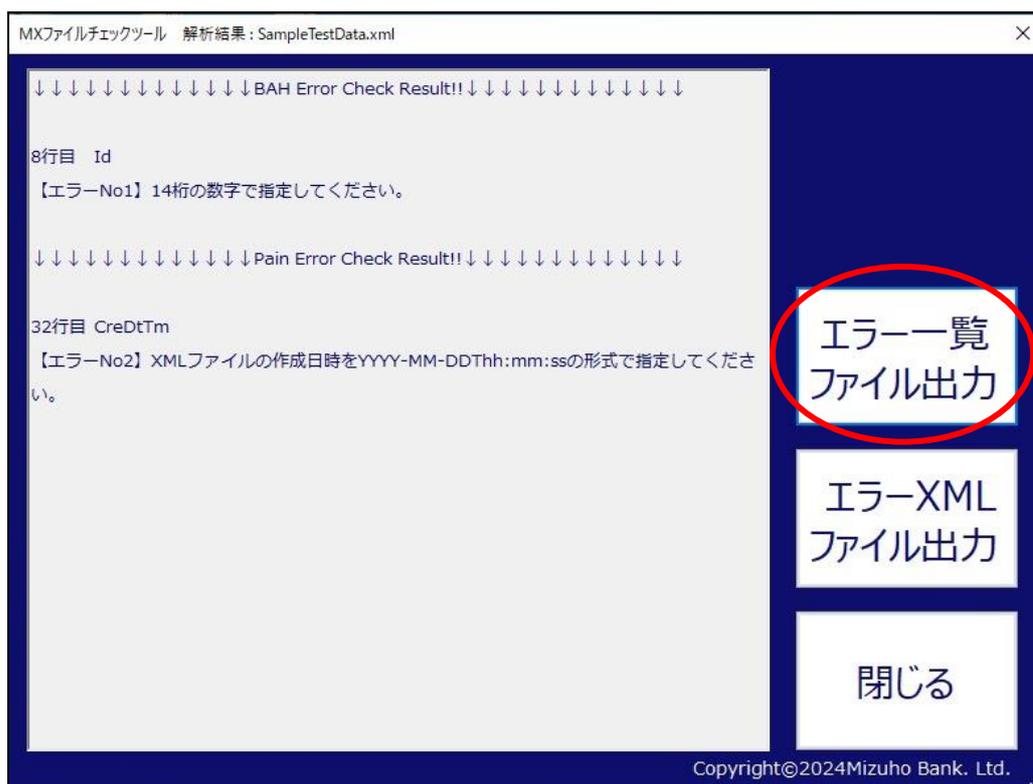
2.4 エラー一覧ファイル出力

解析結果を CSV 形式にてファイル出力します。

操作手順

1. 画面右側の「エラー一覧ファイル出力」ボタンをクリックします。

- ・エラーが検出されていない場合は「エラー一覧ファイル出力」ボタンは使用できません。
- ・XML 宣言が規定数と異なる場合も「エラー一覧ファイル出力」ボタンは使用できません。
 - みずほ e-ビジネスサイト用【BAH 不要】選択時:XML 宣言は一つのみに対応
 - ホストコンピューター/パソコンサービス(一括伝送)用【BAH 要】選択時:XML 宣言は二つのみ対応



画面上の操作箇所

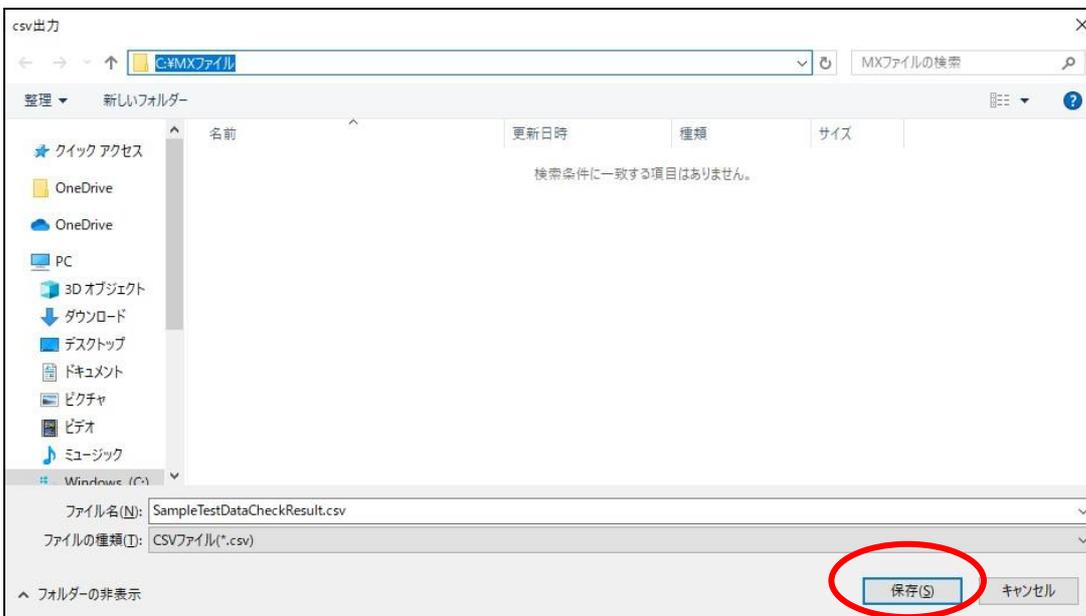
<ボタン操作>

項目	説明
エラー一覧ファイル出力ボタン	CSV 形式のファイル出力を行います。

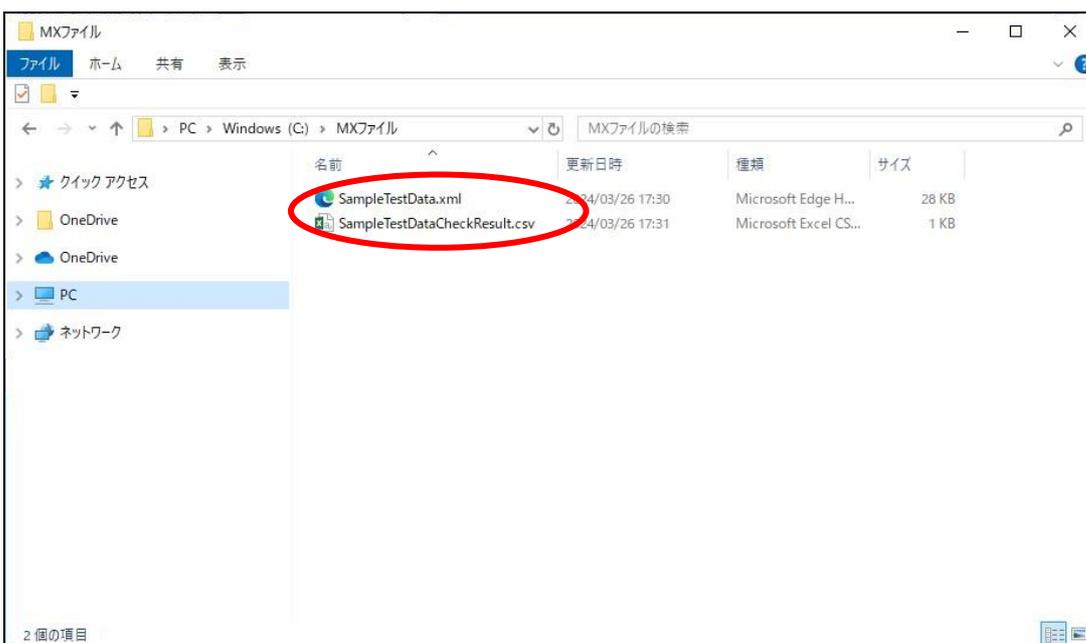
2. 「保存先ファイルの選択」ダイアログが開きます。

保存先を選択し、「保存」ボタンをクリックします。

・デフォルトの出カファイル名は「入力ファイル名」+ [CheckResult.csv]が入力されます。



3. 「保存」ボタンをクリックすると保存先に CSV ファイルが作成されます。



<出力情報>

項目	説明
出力ファイルの形式	文字コード:UTF-8 BOM 有 区切り文字: , (カンマ)
出力項目	行数:エラー個所の行数 タグ:エラーとなったタグ名 エラーNo:エラーの番号 エラー内容:エラー内容(ダブルクォーテーション囲み) なお、メッセージ内の予約文字(<>'”&)は全角で出力されます。 階層:タグ迄の階層

<出力例>

行数	タグ	エラーNo	エラー内容	階層
8行目	Id	【エラーNo1】	14桁の数字で	AppHdr->Fr->OrgId->Id->OrgId->Othr->Id
32行目	CreDtTm	【エラーNo2】	XMLファイルの	Document->CstmrCdtTrfInitn->GrpHdr->CreDtTm

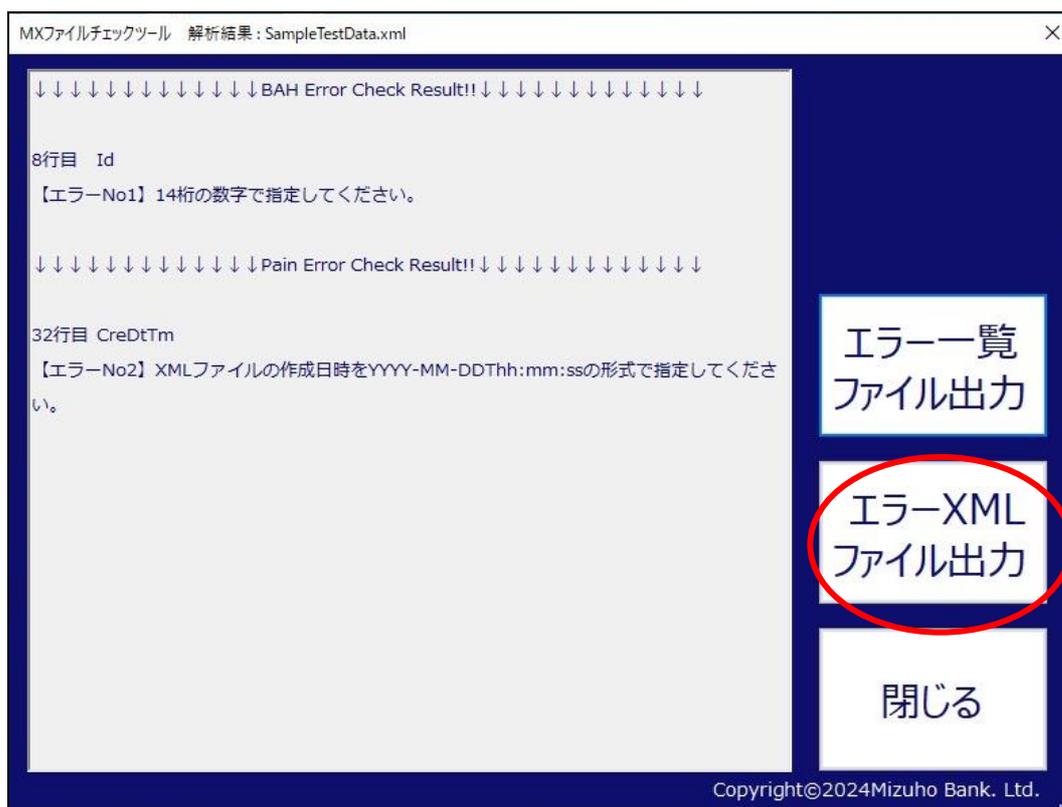
2.5 エラーXML ファイル出力

解析結果を XML 形式にてファイル出力します。

操作手順

1. 画面右側の「エラーXML ファイル出力」ボタンをクリックします

- ・エラーが検出されていない場合は「エラー一覧ファイル出力」ボタンは使用できません。
- ・xml 宣言が規定数と異なる場合も「エラー一覧ファイル出力」ボタンは使用できません。
 - みずほ e-ビジネスサイト用【BAH 不要】選択時:xml 宣言は一つのみに対応
 - ホストコンピューター/パソコンサービス(一括伝送)用【BAH 要】選択時:xml 宣言は二つにのみ対応

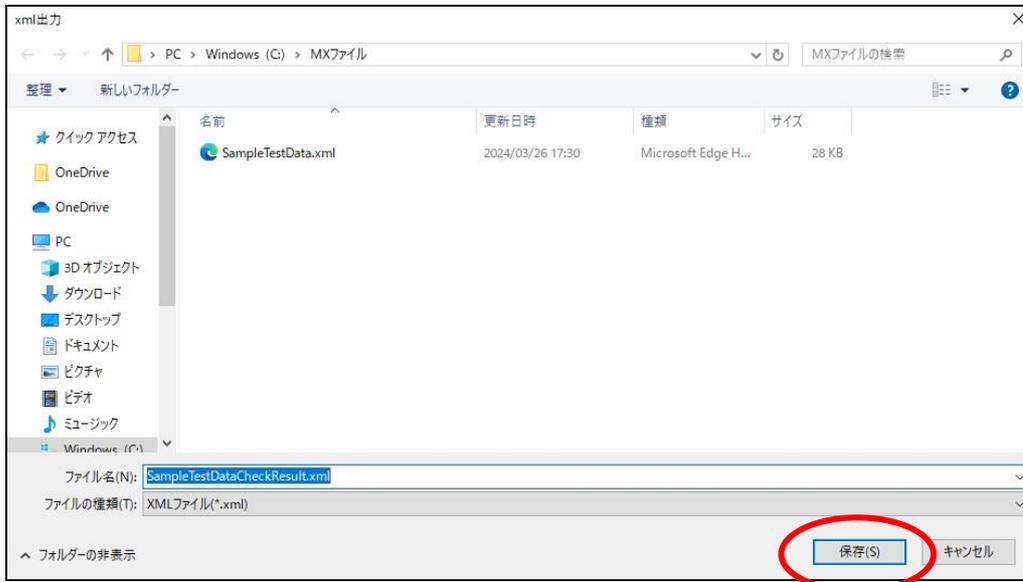


<ボタン操作>

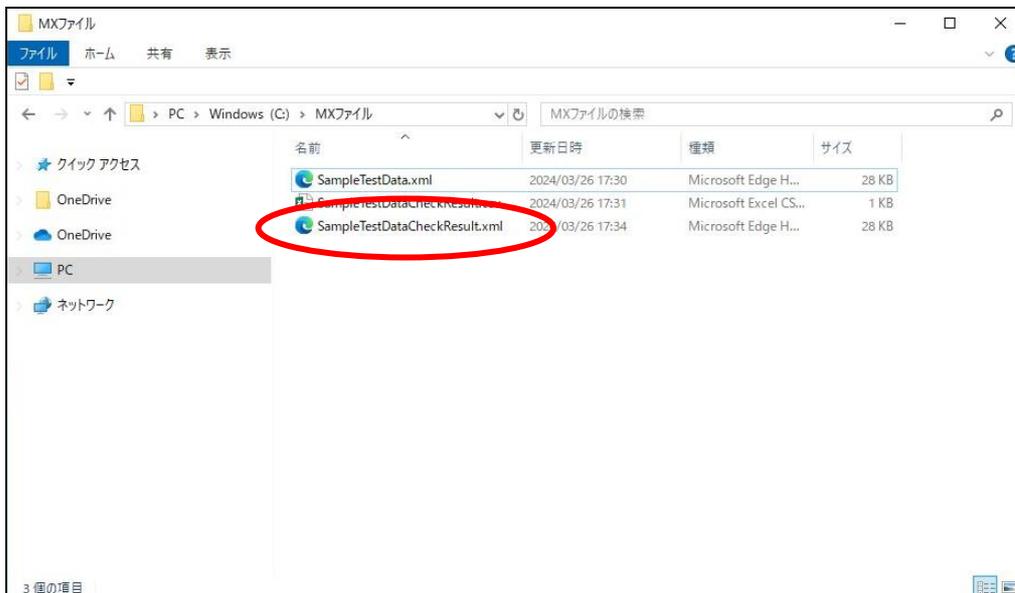
項目	説明
エラーXML ファイル出力ボタン	XML 形式のファイル出力を行います。

2. 「保存先ファイルの選択」ダイアログが開きます。保存先を選択し、「保存」ボタンをクリックします。

- ・デフォルトの出力ファイル名は「入力ファイル名」+ [CheckResult.xml]が入力されます。



3. 「保存」ボタンをクリックすると保存先に XML ファイルが作成されます。



<出力情報>

項目	説明
出力ファイルの形式	文字コード:UTF-8 BOMなし
出力項目	エラーとなった個所に、エラーNo とエラー内容が付加されます。 なお、エラーメッセージ内の予約文字(<>'” &)は全角で出力されます。

<出力例>

```

SampleTestDataCheckResult.xml - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<AppHdr xmlns="urn:iso:std:iso:20022:tech:xsd:head.001.001.02.01">
  <Fr>
    <OrgId>
      <Id>
        <OrgId>
          <Othr>
            <Id>999488889891941【エラーNo1】14桁の数字で指定してください。</Id>
          </Othr>
        </OrgId>
      </Id>
    </OrgId>
  </Fr>
  <To>
    <FIId>
      <FinInstnId>
        <Othr>
          <Id>60844872626084</Id>
        </Othr>
      </FinInstnId>
    </FIId>
  </To>
  <BizMsgIdr>Foreign_Remittance</BizMsgIdr>
  <MsgDefIdr>pain.001.001.09.01</MsgDefIdr>
  <BizSvc>PUT</BizSvc>
</AppHdr>
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<Document xmlns="urn:iso:std:iso:20022:tech:xsd:pain.001.001.09.01">
  <CstmrCdtTrfInitn>
    <GrpHdr>
      <MsgId>11BXEPZSAL1IM</MsgId>
      <CreDtTm>2018-10-19【エラーNo2】XMLファイルの作成日時をYYYY-MM-DDThh:mm:ssの形式で指定してください。</CreDtTm>
      <NbOfTx>1</NbOfTx>
      <InitgPty>
        <CtctDtIs>
          <NmPrfx>MIST</NmPrfx>
          <PhneNb>+71-7)778-343--8896</PhneNb>
          <FaxNb>+28-978)67015-4(730</FaxNb>
          <EmailPrfx>F0VI 6NK91Y1KN76T.IR5.I09P50</EmailPrfx>
        </CtctDtIs>
      </InitgPty>
    </GrpHdr>
  </CstmrCdtTrfInitn>
</Document>
1行、1列 100% Windows (CRLF) UTF-8
  
```

※補足

BAH 付きの出力結果については、標準的なブラウザで表示を確認することができません。
メモ帳などのテキスト編集アプリでご確認いただくか、一度テキスト編集アプリで開いていただき、
xml 宣言毎に別ファイルに保存していただくことで、ブラウザ上でもご確認いただけます。

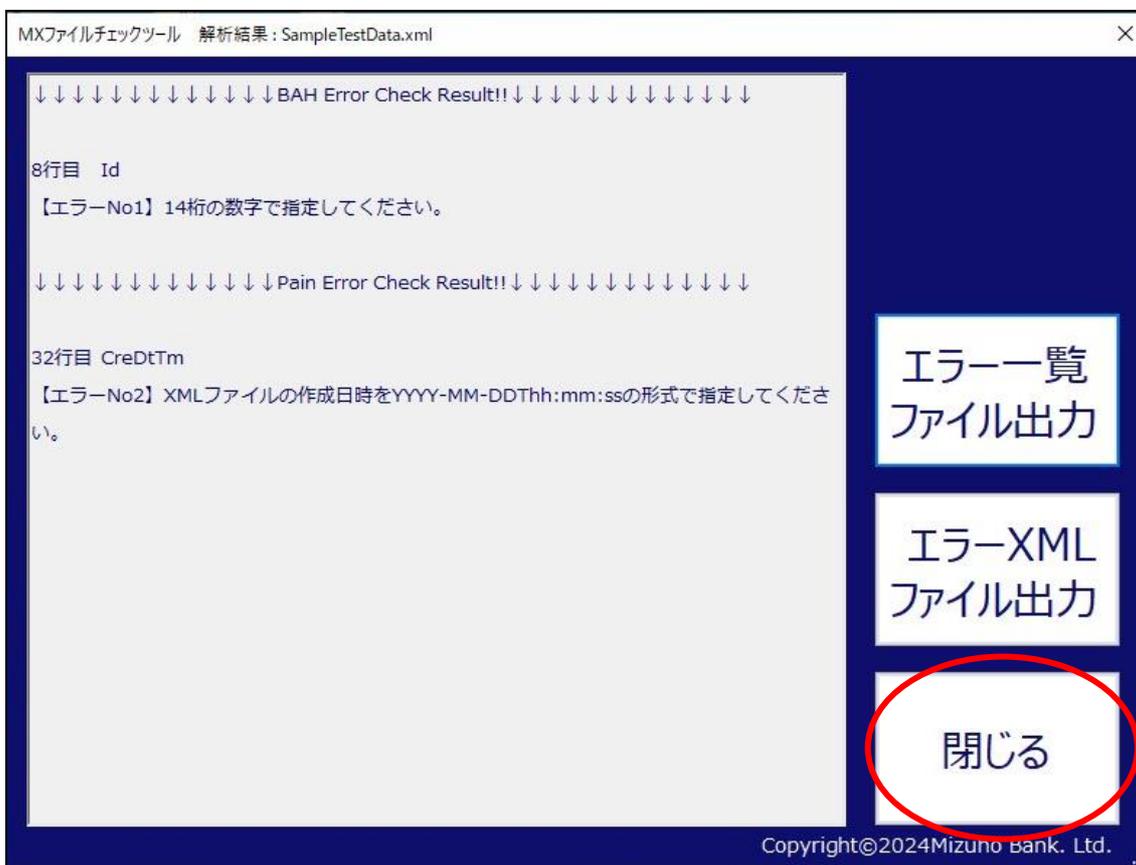
2.6 バリデーションチェックツールの終了

バリデーションチェックツールを終了します。

操作手順

1. 解析結果の表示画面が開いている場合、画面右下の「閉じる」ボタンをクリックします。

※解析結果の表示画面が閉じられている場合、次の手順へ進んでください。



<ボタン操作>

項目	説明
閉じるボタン	解析結果画面を閉じ、ファイル選択画面をアクティブにします。

2. 確認ファイルの選択画面が表示されている場合、「終了」ボタンをクリックします。
バリデーションチェックツールが終了します。



<ボタン操作>

項目	説明
終了ボタン	アプリケーションを終了します。

第3章

エラー発生時の対処方法

この章では、エラー発生時の対処のしかたを説明します。

- 起動時のエラーについて
- ファイル読込時のエラーについて
- ファイル解析時のエラーについて
- ファイル解析が中断する
- ファイル出力時のエラーについて
- その他の例外エラーについて

3.1 起動時のエラーについて

バリデーションチェックツール起動時において、エラーが発生する場合があります。

本項では表示されるメッセージについて説明をします。

対処方法については、メッセージ内容と下記表をご確認ください。

<起動時に出力されるメッセージ>

エラーメッセージ	原因	対処のしかた	備考
このツールは複数起動 できません。 実行中のツールを閉じて から起動してください。	ツールの多重起動	起動中のツールを終了し、 再実行してください。終了 方法は 20 ページの 2.6 バ リデーションチェックツール の終了を参照ください。	-

3.2 ファイル読込時のエラーについて

ファイル読込時において、エラーが発生する場合があります。

本項では表示されるメッセージについて説明をします。

対処方法については、メッセージ内容と下記表をご確認ください。

エラーメッセージ (ワーニングメッセージ)	原因	対処のしかた	備考
指定のファイルが存在しません。再度チェックするファイルを選んでください。	入力ファイルが見つからない。	入力ファイルを正しく指定してください。	-
ファイルサイズが 20MB を超えるファイルには対応していません。 再度チェックするファイルを選んでください。	入力ファイルのサイズが 20MB を超えている。	入力ファイルの指定が誤っていないことを確認し、入力ファイルのサイズを 20MB 以内に修正して、再実行してください。	-
ファイルサイズが 0 バイトです。 再度チェックするファイルを選んでください。	入力ファイルのサイズが 0 バイトである。	入力ファイルの指定が誤っていないことを確認して、再実行してください。	-

3.3 ファイル解析時のエラーについて

ファイル読込時において、エラーが発生する場合があります。

本項では表示されるメッセージについて説明をします。

対処方法については、メッセージ内容と下記表をご確認ください。

<ファイル読込時に出力されるメッセージ>

エラーメッセージ (ワーニングメッセージ)	原因	対処のしかた	備考
取扱可能文字コードは Unicode (UTF-8)のみとなります。 この画面を閉じてファイルを選びなおしてください。	入力ファイルの文字コードが Unicode (UTF-8)以外になっている。	入力ファイルの文字コードを Unicode (UTF-8)に変更して、再実行してください。	BOMの有無については、どちらでも対応しております。
XML 宣言(<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>のタグ)が見つかりませんでした。	XML 宣言が存在しない。	入力ファイルに xml 宣言が正しく記述されていることを確認して、再実行してください。	-
XML 宣言(<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>のタグ)が3つ以上見つかりました。	XML 宣言が3個以上存在する。	対応する MX ファイルを用意して、再実行してください。	-
XML 宣言(<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>のタグ)が複数見つかりました。BAH をチェックする際にはこの画面を閉じて伝送用(BAH 要)を選択してください。	BAH 不要を選択し、入力ファイルの XML 宣言が複数存在する。	対応する MX ファイルを用意するか、チェック形式の選択を BAH 要に変更して、再実行してください。	-
XML 宣言(<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>のタグ)は、BAH・Pain.001 それぞれに必要です。	BAH 不要を選択し、入力ファイルの XML 宣言が2箇所存在しなかった。	対応する MX ファイルを用意するか、チェック形式の選択を BAH 不要に変更して、再実行してください。	

3.4 ファイル解析が中断するエラーについて

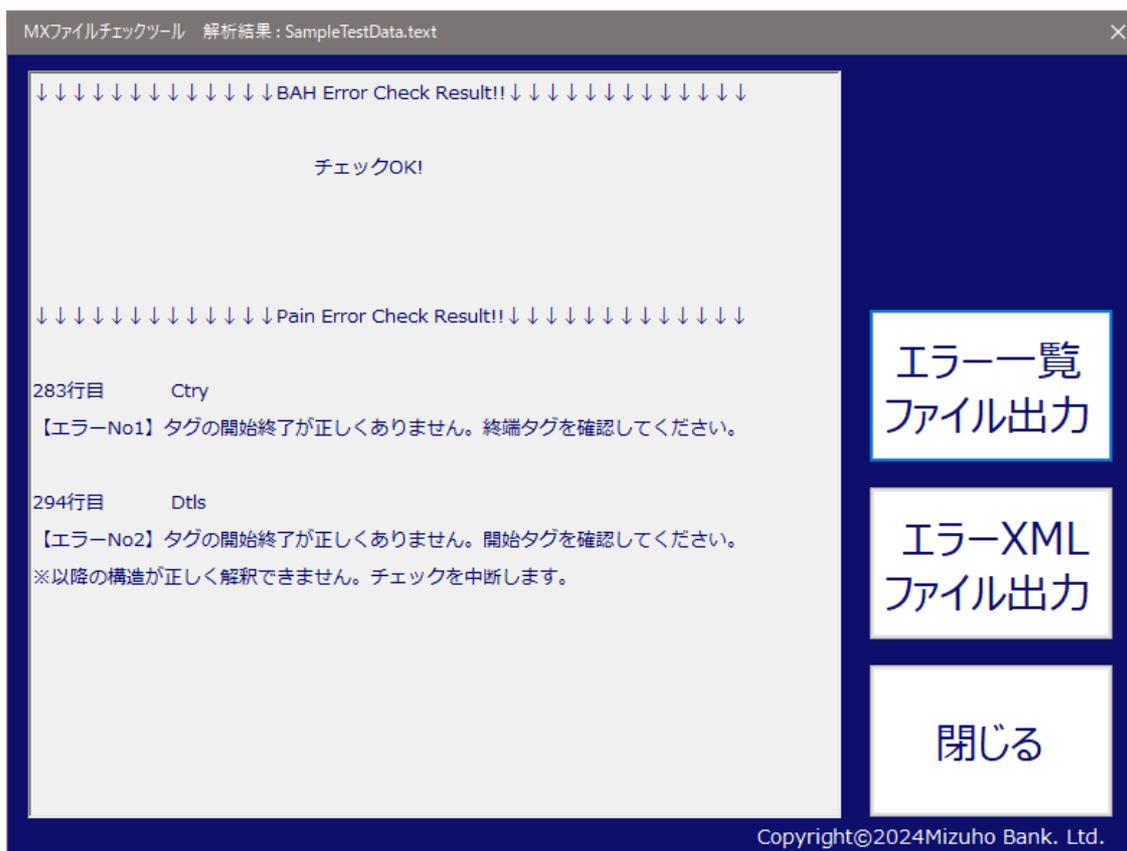
ファイル解析中にエラーが発生し、解析が中断する場合があります。ファイル解析が中断した際は、ファイルに複数のエラーがあっても解析中断の原因となったエラーのみ表示されます。本項では表示されるメッセージについて説明をします。対処方法については、メッセージ内容と下記表をご確認ください。

<ファイル解析が中断される際に出力されるメッセージ>

エラーメッセージ (ワーニングメッセージ)	原因	対処のしかた	備考
<p>予約文字「<」が使用されています。エスケープ文字を使用してください。(< ⇒ &lt;)</p> <p>※以降の構造が正しく解釈できません。チェックを中断します。</p> <p>※メッセージ内の予約文字 (<>"'&)は全角で出力されます。</p>	<p>タグ以外で予約文字「<」が使用されている。</p>	<p>入力ファイル内のタグ名もしくは値を確認して不要な「<」の削除、もしくは必要な「>」を追加して、再実行してください。</p>	-
<p>タグの開始終了が正しくありません。終端タグを確認してください。</p> <p>タグの開始終了が正しくありません。開始タグを確認してください。</p> <p>※以降の構造が正しく解釈できません。チェックを中断します。</p>	<p>開始タグに対応した終端タグが検出できない。</p>	<p>開始タグと終端タグの対応関係を修正して、再実行してください。</p>	-

エラーメッセージ (ワーニングメッセージ)	原因	対処のしかた	備考
<p>タグ名に使用不可文字が使用されています。</p> <p>※以降の構造が正しく解釈できません。チェックを中断します。</p>	<p>タグ名に以下の文字以外が使用されている。</p> <p>(SPC)(HT)(LF)(CR)</p> <p>!'"#\$%&'()*+,-./</p> <p>0123456789:;<=>?</p> <p>@ABCDEFGHIJKLMNO</p> <p>PQRSTUVWXYZ[¥]^_`</p> <p>abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{ }~</p>	<p>タグ名から使用可能文字以外の文字を削除して、再実行してください。</p>	

<エラー例>



<エラー一覧ファイル出力例>

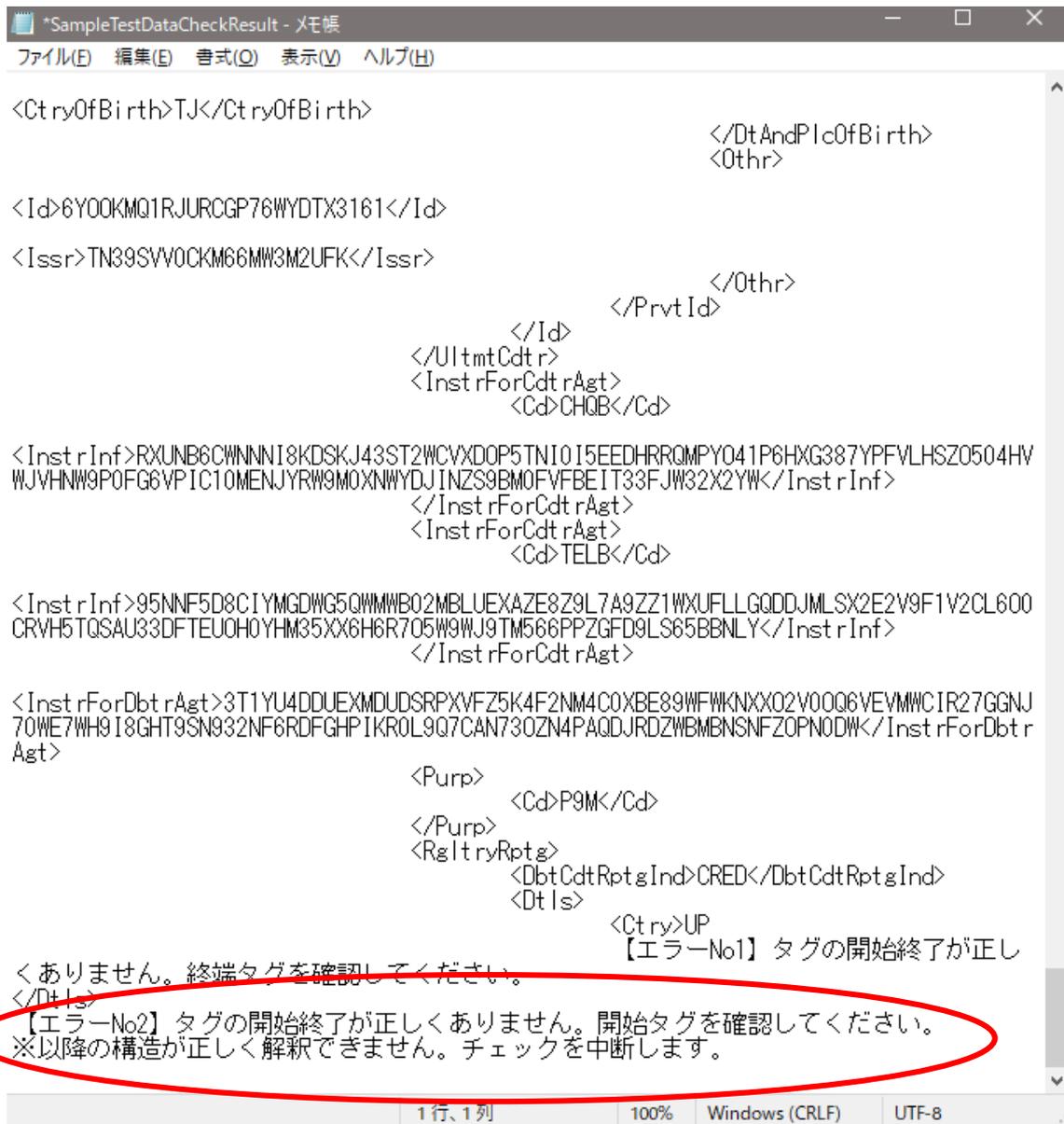
開始タグに対応した終端タグが検出できない場合は、終了タグの階層は表示されません。

The screenshot shows an Excel spreadsheet titled 'SampleTestDataCheckResult.csv - Excel'. The spreadsheet has columns labeled '行数' (Line No.), 'タグ' (Tag), 'エラーNo' (Error No.), and 'エラー内容' (Error Content). The 'エラー内容' column for the error at line 294 is circled in red. The error message in Japanese states that the start tag 'Document' was not properly closed, and the end tag 'Dtls' was not found, leading to a parsing error. The error path is listed as 'Document->CstmrCdtTrfInitt->PmtInf->CdtTrfTxInf->RgltryRptg->Dtls->Ctry'.

行数	タグ	エラーNo	エラー内容	階層
283行目	Ctry	【エラーNo	タグの開始	Document->CstmrCdtTrfInitt->PmtInf->CdtTrfTxInf->RgltryRptg->Dtls->Ctry
294行目	Dtls	【エラーNo	タグの開始が終了が正しくありません。開始タグを確認してください。 ※以降の構造が正しく解釈できません。チェックを中断します。	

<エラーXML ファイル出力例>

解析が中断した場合、エラーXML ファイルにはエラー箇所以降に記載の MX ファイル内容は出力されません。



```
*SampleTestDataCheckResult - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

<CtryOfBirth>TJ</CtryOfBirth>
</DtAndPlcOfBirth>
<Othr>

<Id>6Y00KMQ1RJURCGP76WYDTX3161</Id>

<Issr>TN39SVV0CKM66MW3M2UFK</Issr>
</Othr>
</Prvt Id>
</Id>
</UltmtCdt r>
<Inst rForCdt rAgt>
<Cd>CHQB</Cd>

<Inst rInf>RXUNB6CWNINI8KDSKJ43ST2WCVXDOP5TNI0I5EEDHRRQMPY041P6HXG387YPFVLHSZ0504HV
WJVHNV9P0FG6VPIC10MENJYRW9M0XNWDJINZS9BMOFVFBEIT33FJW32X2YW</Inst rInf>
</Inst rForCdt rAgt>
<Inst rForCdt rAgt>
<Cd>TELB</Cd>

<Inst rInf>95NNF5D8CIYMGDWG5QMMWB02MBLUEXAZE8Z9L7A9ZZ1WXUJLLGQDDJMLSX2E2V9F1V2CL600
CRVH5TQSAU33DFTEUOH0YHM35XX6H6R705W9WJ9TM566PPZGFD9LS65BBNLY</Inst rInf>
</Inst rForCdt rAgt>

<Inst rForDbt rAgt>3T1YU4DDUEXMDUDSRPXVFZ5K4F2NM4C0XBE89WFWKX02V00Q6VEVMWC1R27GGNJ
70WE7WH9I8GHT9SN932NF6RDFGHP1KR0L9Q7CAN730ZN4PAQDJRDZWBMBNSNFZOPNODWK</Inst rForDbt r
Agt>
<Purp>
<Cd>P9MK</Cd>
</Purp>
<RgltryRptg>
<DbtCdtRptgInd>CRED</DbtCdtRptgInd>
<Dt l s>
<Ctry>UP
【エラーNo1】 タグの開始終了が正し
くありません。終端タグを確認してください。
</Dt l s>
【エラーNo2】 タグの開始終了が正しくありません。開始タグを確認してください。
※以降の構造が正しく解釈できません。チェックを中断します。

1行、1列 100% Windows (CRLF) UTF-8
```

3.5 ファイル出力時のエラーについて

ファイル出力時において、エラーが発生する場合があります。

本項では表示されるメッセージについて説明をします。対処方法については、メッセージ内容と下記表をご確認ください。

<ファイル出力時に出力されるメッセージ>

エラーメッセージ	原因	対処のしかた	備考
別のプロセスで使用されているため、プロセスはファイル '{0}' にアクセスできません。	他アプリで使用 中のファイル名 を設定している。 補足:「エラー一 覧ファイルを出 力」ボタンを押し て、他アプリで使 用中のファイル 名のエラー一覧 を CSV 形式のフ ァイルにて出力 する。	別名で保存するか、他ア プリで使用中的ファイル を開放して、再実行してく ださい。	{0}: ファイルのフルパ ス

3.6 その他の例外エラーについて

バリデーションチェックツール使用時において、予期しない例外エラーが発生する場合があります。

本項では表示されるメッセージについて説明をします。

対処方法については、メッセージ内容と下記表をご確認ください。

<その他の出力されるメッセージ>

エラーメッセージ	原因	対処のしかた	備考
例外メッセージ + 改行 + 例外内容	以下処理の失敗 ・ファイル読込 ・ファイル出力 ・終了	起動中のツールを終了し、 再実行してください。終了方 法は 20 ページの 2.6 バリデ ーションチェックツールの終 了を参照ください。問題が解 決しない場合、メッセージ出 力内容のキャプチャと操作 内容をご用意の上、ツール の取得先へお問い合わせく ださい。	{0}:例外発生 処理 {1}:例外内容

別紙

別紙では、以下の説明をします。

- MX ファイルチェックエラー一覧

MX ファイルチェックエラー一覧

MX フォーマットのチェック結果として検出するエラーは以下の通りです。

<MX ファイルチェックエラー一覧>

エラーメッセージ	原因	対処のしかた	備考
xml のバージョンは 1.0、取扱可能文字コードは Unicode (UTF-8)、[DTD の外部参照は有り]のファイルにのみ対応しています。	xml のバージョンを 1.0 以外で指定している、もしくは文字コードを Unicode (UTF-8)、[DTD の外部参照は有り]としている。	xml のバージョンを 1.0 かつ文字コードを Unicode (UTF-8)、[DTD の外部参照は有り]としてください。	-
AppHdr の名前空間は「urn:iso:std:iso:20022:tech:xsd:head.001.001.02.01」にのみ対応しています。	AppHdr の名前空間が「urn:iso:std:iso:20022:tech:xsd:head.001.001.02.01」以外となっている。	AppHdr の名前空間を「urn:iso:std:iso:20022:tech:xsd:head.001.001.02.01」としててください。	
仕様に定義されていないタグです。	使用に定義されていない名称のタグが使用されている。	タグの名称を修正して、再実行してください。	
仕様に定義されていないタグ属性です。	金額を記載するタグ以外に「Ccy=[A-Z]{3,3}」という属性の定義が付与されている。	金額を記載するタグ以外の「Ccy=[A-Z]{3,3}」という属性の定義を削除し、再実行してください。	
タグの開始終了が正しくありません。終端タグを確認してください。 タグの開始終了が正しくありません。開始タグを確認してください。 ※以降の構造が正しく解釈できません。チェックを中断します。	開始タグ(<タグ名>)に対応した終端タグ(</タグ名>)が検出できない。	開始タグと終端タグの対応関係を修正して、再実行してください。	-

エラーメッセージ	原因	対処のしかた	備考
タグ名に使用不可文字が使用されています。 ※以降の構造が正しく解釈できません。チェックを中断します。	タグ名に以下の文字以外が使用されている。 (SPC)(HT)(LF)(CR) !"/#\$%&'()*+,-./ 0123456789:;<=>? @ABCDEFGHIJKLMNO PQRSTUVWXYZ[¥]^_ `abcdefghijklmno pqrstuvwxyz{ }~	タグ名から使用可能文字以外の文字を削除して、再実行してください。	
{0}には{1}が{2}個(、{1}が{2}個)、…必要です。	pain.001.001.09 又は BAH の規定する必須タグが子要素として検出できない。	仕様を確認し、必要なタグを追加して再実行してください。	{0}: エラーを検出した対象タグ {1}: 対象タグの必須の子要素名 {2}: 対象タグの必須の子要素の必要数
{0}に設定できる{1}は{2}個(、{1}は{2}個)…までです。	pain.001.001.09 又は BAH の規定する最大の設定可能数を超えている子要素が存在する。	仕様を確認し、余分なタグを削除して、再実行してください。	{0}: エラーを検出した対象タグ {1}: 対象タグの最大設定可能数を超えている子要素名 {2}: 子要素の最大設定可能数
{0}には{1}又は{1}のどちらか一方のみの設定が必要です。	pain.001.001.09 又は BAH の規定する選択式の子要素の指定が誤っている。	仕様を確認し、選択式の子要素を正しく指定して、再実行してください。	{0}: エラーを検出した対象タグ {1}: 対象タグの選択式の子要素名
トランザクション NbOfTx({0}件)が明細数 CdtTrfTxInf({1}件)と異なります。	NbOfTx の設定値と、CdtTrfTxInf の総数が一致しない。	NbOfTx の設定値と、CdtTrfTxInf の総数が一致するように修正して、再実行してください。	{0}: NbOfTx の設定値 {1}: CdtTrfTxInf の総数

エラーメッセージ	原因	対処のしかた	備考
予約文字が値として設定されています。エスケープ文字を使用してください。(＜⇒<、＞⇒>、”⇒"、’⇒'、&⇒&)	5種の予約文字[<>”’&]のいずれかが値として使用されている。	予約文字を削除するか、エスケープ文字に置き換えて、再実行してください。	-
使用可能文字以外の文字が使用されています。	タグの値に以下の文字以外が使用されている。 (SPC)(HT)(LF)(CR) !"#%&'()*+,-./ 0123456789:;<=>? @ABCDEFGHIJKLMN O PQRSTUVWXYZ[¥]^_ `abcdefghijklmno pqrstuvwxyz{ }~	タグの値から使用可能文字以外の文字を削除して、再実行してください。	(SPC):空白(半角スペース) (HT):水平タブ (LF):改行(行進め) (CR)改行(文頭移動)
その他 ※各データの規定文言	pain.001.001.09 又は BAH の規定する入力値になっていない。	仕様を確認し、値を正しく指定して、再実行してください。	-
YYYY-MM-DDThh:mm:ss の形式で指定してください。	CreDt の値が「YYYY-MM-DDThh:mm:ss」の形式になっていない。	CreDt の値を「YYYY-MM-DDThh:mm:ss」の形式に修正して、再実行してください。	★
{規定文字数}桁の数字で指定してください。	BAH の規定する文字数になっていない。	値を規定の桁数に修正して、再実行してください。	

エラーメッセージ	原因	対処のしかた	備考
Foreign_Remittance を指定してください。	BizMsgIdr の値が「Foreign_Remittance」となっていない。	BizMsgIdr の値を「Foreign_Remittance」として、再実行してください。	★
pain.001.001.09.01 を指定してください。	MsgDefIdr の値が「pain.001.001.09.01」となっていない。	MsgDefIdr の値を「pain.001.001.09.01」として、再実行してください。	★
ビジネスサービスコードには PUT を指定してください。	BizSvc の値が「PUT」となっていない。	BizSvc の値を「PUT」として、再実行してください。	★
Document の名前空間は「urn:iso:std:iso:2002:tech:xsd:pain.001.001.09.01」にのみ対応しています。	Document の名前空間が「urn:iso:std:iso:2002:tech:xsd:pain.001.001.09.01」となっていない。	Document の名前空間を「urn:iso:std:iso:2002:tech:xsd:pain.001.001.09.01」として、再実行してください。	
予約文字が値として設定されています。エスケープ文字を使用してください。(<⇒<、 >⇒>、 ”⇒"、 ’⇒'、 &⇒&)	タグの値として予約文字が使用されている。	予約文字にエスケープ文字を付与して再実行してください。	

エラーメッセージ	原因	対処のしかた	備考
<p>送金金額は以下の通り指定してください。</p> <p>【設定例】</p> <pre><Amt> <InstdAmt Ccy="USD">2307.03< /InstdAmt> </Amt></pre> <p>整数部と小数点以下のトータルの桁数が 14 桁以内で設定。</p> <p>【設定例】</p> <p>①日本円の場合(小数点以下なし) 整数部 14 桁</p> <p>②USD、EUR の場合(小数点以下 2 桁) 整数部 11 桁+カンマ(1 桁)+小数部 2 桁=14 桁</p> <p>③バーレンディナールの場合(小数点以下 3 桁) 整数部 10 桁+カンマ(1 桁)+小数部 3 桁=14 桁</p> <p>※メッセージ内の予約文字(<>"&)は全角で出力されます。</p>	<p>値の整数部分と小数点以下の桁数が 19 桁以上(カンマを含める)、もしくは小数点以下が 5 桁以上となっている。</p>	<p>下記設定例に従って値を修正し、再実行してください。</p> <p>【設定例】</p> <p>①日本円の場合(小数点以下なし) 整数部 14 桁</p> <p>②USD、EUR の場合(小数点以下 2 桁) 整数部 11 桁+カンマ(1 桁)+小数部 2 桁=14 桁</p> <p>③バーレンディナールの場合(小数点以下 3 桁) 整数部 10 桁+カンマ(1 桁)+小数部 3 桁=14 桁</p>	★
<p>{規定文字数}文字以内でコードを指定してください。</p>	<p>pain.001.001.09 の規定する文字数を超えている。</p>	<p>タグの値を規定文字数以内として、再実行してください。</p>	

エラーメッセージ	原因	対処のしかた	備考
アルファベット大文字の(規定文字数)文字で指定してください。	pain.001.001.09 の規定する文字数を超えている、もしくはアルファベット大文字以外が使用されています。	タグの値を規定文字数以内のアルファベット大文字として、再実行してください。	
({規定コード}、{規定コード})…のいずれかを指定してください。	pain.001.001.09 の規定するコード以外が使用されています。	タグの値を規定のコードとして、再実行してください。	
支払方法コードは TRF を指定してください。	PmtMtd の値が「TRF」となっていない。	PmtMtd の値を「TRF」として、再実行してください。	★
手数料支払人区分は(SHAR、CRED、DEBT)のいずれかを指定してください。なお、「CRED」は原則設定不可。利用する場合は取引部店に事前に相談ください。	ChrgBr の値が「SHAR」、「CRED」、「DEBT」以外となっている。	ChrgBr の値を「SHAR」、「CRED」、「DEBT」のいずれかとして、再実行してください。	
受取人住所の国名はアルファベット大文字の2文字(ISO3166-1 Alpha-2)で指定してください。	Ctry の値がアルファベット大文字の2文字となっていない。	Ctry の値がアルファベット大文字の2文字として、再実行してください。	
報告先当局は(DEBT、CRED)のいずれかを指定してください。	DbtCdtRptgInd の値が「DEBT」、「CRED」以外となっている。	DbtCdtRptgInd の値を「DEBT」、「CRED」として、再実行してください。	
日付はYYYY-MM-DDの形式で指定してください。	日付の値が「YYYY-MM-DD」の形式となっていない。	日付の値を「YYYY-MM-DD」の形式として、再実行してください。	★

エラーメッセージ	原因	対処のしかた	備考
送金実行日を Dt で指定する場合は YYYY-MM-DD の形式で指定してください。	Dt の値が 「YYYY-MM-DD」 の形式となっていない。	Dt の値を「YYYY-MM-DD」の 形式として、再実行してくだ さい。	★
XML ファイルの作成日時を YYYY-MM-DDThh:mm:ss の形式で指定してく ださい。	CreDtTm の値が 「YYYY-MM-DDTh h:mm:ss」の形式と なっていない。	CreDtTm の値を 「YYYY-MM-DDThh:mm:ss」の 形式として、再実行してくだ さい。	★
送金実行日を DtTm で指定する場合は YYYY-MM-DDThh:mm:ss の形式で指定してく ださい。	DtTm の値が 「YYYY-MM-DDTh h:mm:ss」の形式と なっていない。	DtTm の値を 「YYYY-MM-DDThh:mm:ss」の 形式として、再実行してくだ さい。	★
BIC 番号(SWIFT コード)は [A-Z0-9]{4,4}[A-Z]{2,2}[A-Z0-9]{2,2}([A-Z0-9] {3,3}){0,1}の形式で指定してください。	pain.001.001.09 の 規定する形式とな っていない。	BIC 番号の値を「アルファベット 大文字もしくは数字 4 桁」+「ア ルファベット大文字 2 桁」+「ア ルファベット大文字もしくは数字 2 桁」、もしくは「アルファベット 大文字もしくは数字 4 桁」+「ア ルファベット大文字 2 桁」+「ア ルファベット大文字もしくは数字 5 桁」の形式として、再実行して ください。	
取引主体識別子は[A-Z0-9]{18,18}[0-9]{2,2} の形式で指定してください。	pain.001.001.09 の 規定する形式とな っていない。	取引主体識別子の値を「アルフ アベット大文字もしくは数字 18 桁」+「数字 2 桁」の形式とし て、再実行してください。	

エラーメッセージ	原因	対処のしかた	備考
IBAN は[A-Z]{2,2}[0-9]{2,2}[a-zA-Z0-9]{1,30}の形式で指定してください。	pain.001.001.09 の規定する形式となっていない。	IBAN の値を「アルファベット大文字 2 桁」+「数字 2 桁」+「アルファベットもしくは数字 1~30 桁」の形式として、再実行してください。	
依頼人銀行の BIC 番号(SWIFT コード)は [A-Z0-9]{4,4}[A-Z]{2,2}[A-Z0-9]{2,2}([A-Z0-9]{3,3}){0,1}の形式で指定してください。	pain.001.001.09 の規定する形式となっていない。	依頼人銀行の BIC 番号の値を「アルファベット大文字もしくは数字 4 桁」+「アルファベット大文字 2 桁」+「アルファベット大文字もしくは数字 2 桁」、もしくは「アルファベット大文字もしくは数字 4 桁」+「アルファベット大文字 2 桁」+「アルファベット大文字もしくは数字 5 桁」の形式として、再実行してください。	
UETR は [a-f0-9]{8}-[a-f0-9]{4}-4[a-f0-9]{3}-[89ab][a-f0-9]{3}-[a-f0-9]{12}の形式で指定してください。	pain.001.001.09 の規定する形式となっていない。	UETR の値を「アルファベット小文字(a~f)もしくは数字 8 桁」+「-」+「アルファベット小文字(a~f)もしくは数字 4 桁」+「-4」+「アルファベット小文字(a~f)もしくは数字 3 桁」+「-」+「8,9,a,b のいずれか 1 桁」+「アルファベット小文字(a~f)もしくは数字 3 桁」+「-」+「アルファベット小文字(a~f)もしくは数字 12 桁」として、再実行してください。	

エラーメッセージ	原因	対処のしかた	備考
4文字、または5文字で指定してください。	pain.001.001.09の規定する文字数となっていない。	タグの値を4文字もしくは5文字として、再実行してください。	
18桁までの数字で指定してください。	pain.001.001.09の規定する桁数となっていない。	タグの値を18桁以内の数字として、再実行してください。	
11桁までの数字で指定してください。	pain.001.001.09の規定する桁数となっていない。	タグの値を11桁以内の数字として、再実行してください。	
{規定文字数}文字までの文字列で指定してください。	pain.001.001.09の規定する文字数となっていない。	タグの値を規定文字以内の文字列として、再実行してください。	
¥+[0-9]{1,3}-[0-9()+¥-]{1,30}の形式で指定してください。	pain.001.001.09の規定する形式となっていない。	タグの値を「+」+数字1~3桁「数字もしくは記号(,),+,-を1桁~30桁」として、再実行してください。	
英数字{規定文字数}桁で指定してください。	pain.001.001.09の規定する桁数となっていない。	タグの値を規定桁数以内の英数字として、再実行してください。	

エラーメッセージ	原因	対処のしかた	備考
<p>メッセージの識別 ID を 35 文字以内で指定してください。</p> <p>◆ホストコンピューター/パソコンサービス(一括伝送)の場合 "加入者センタ確認コード"+業務識別番号(外国送金)+"区分(依頼)+"伝送依頼日"+"グループ通番"+"0000"+"000000"</p> <p>*1:業務識別番号(外国送金)・・・0 *2 区分(依頼)・・・0 *3 伝送依頼日・・・YYMMDD *4 グループ通番・・・3 桁でユニークとなる依頼単位の一連番号</p> <p>◆みずほ e-ビジネスサイトの場合 "1","NOT PROVIDED"等任意の値を設定。</p>	<p>MsgId の値が 35 文字以内となっていない。</p>	<p>MsgId の値を 35 文字以内で指定してください。</p>	
<p>全体に含まれるトランザクション数を 200 件以内で指定してください。</p>	<p>NbOfTxS の値が 200 以内の数値となっていない。</p>	<p>NbOfTxS の値を 200 以内の数値として、再実行してください。</p>	★
<p>送金指図人の名前を 1 から 140 文字で指定してください。</p>	<p>Nm の値が 1～140 文字となっていない。</p>	<p>Nm の値を 1～140 文字として、再実行してください。</p>	

エラーメッセージ	原因	対処のしかた	備考
<p>支払情報の識別IDを35文字以内で指定してください。</p> <p>◆ホストコンピューター/パソコンサービス(一括伝送)の場合 ”加入者センタ確認コード”+”業務識別番号(外国送金)”+”区分(依頼)”+”伝送依頼日”+”グループ通番”+”送金依頼通番”+”000000”</p> <p>*1:業務識別番号(外国送金)・・・0 *2 区分(依頼)・・・0 *3 伝送依頼日・・・YYMMDD *4 グループ通番・・・3桁でユニークとなるグループ単位の一連番号 *5 送金依頼通番・・・4桁でユニークとなる送金依頼単位の一連番号</p> <p>◆みずほ e-ビジネスサイトの場合 ”1”, ”NOT PROVIDED”等任意の値を設定。</p>	<p>PmtInflId の値が 35 文字以内となっていない。</p>	<p>PmtInflId の値を 35 文字以内として、再実行してください。</p>	
<p>みずほ銀行が採番したお客さま番号(10桁)を指定してください。</p>	<p>Id の値が 10 桁となっていない。</p>	<p>Id の値を 10 桁として、再実行してください。</p>	

エラーメッセージ	原因	対処のしかた	備考
<p>依頼人口座の口座番号を以下の形式で指定してください。</p> <p>引落口座は店番(3)+通貨(3)+預金科目(2)*+口座番号(7)で設定。</p> <p>*01…普通 02…当座</p> <p>【設定例】</p> <p>円の当座預金:100JPY020123456 外貨の普通預金:100USD010123456</p>	<p>Idの値が15桁となっていない。</p>	<p>Idの値を「数字3桁」+アルファベット大文字3桁+「数字9桁」として、再実行してください。</p>	<p>★</p>
<p>送金明細単位の識別IDを35文字以内で指定してください。</p> <p>◆ホストコンピューター/パソコンサービス(一括伝送)の場合 ”加入者センタ確認コード”+”業務識別番号(外国送金)”+”区分(依頼)”+”伝送依頼日”+”グループ通番”+”送金依頼通番”+”送金依頼明細通番”</p> <p>*1:業務識別番号(外国送金)…0 *2 区分(依頼)…0 *3 伝送依頼日…YYMMDD *4 グループ通番…3桁でユニークとなるグループ単位の一連番号 *5 送金依頼通番…4桁でユニークとなる送金依頼単位の一連番号 *6 送金依頼明細通番…6桁でユニークとなる送金明細単位の一連番号</p> <p>◆みずほ e-ビジネスサイトの場合 ”1”, ”NOT PROVIDED”等任意の値を設定。</p>	<p>InstrIdの値が35文字以内となっていない。</p>	<p>InstrIdの値を35文字以内として、再実行してください。</p>	

エラーメッセージ	原因	対処のしかた	備考
取引照会番号は 35 文字以内で指定してください。	EndToEndId の値が 35 文字以内となっていない。	EndToEndId の値を 35 文字以内として、再実行してください。	
受取人名は 140 文字以内で指定してください。	Nm の値が 140 文字以内となっていない。	Nm の値を 140 文字以内として、再実行してください。	
受取人住所の都市名は 35 文字以内で指定してください。	TwnNm の値が 35 文字以内となっていない。	TwnNm の値を 35 文字以内として、再実行してください。	
受取人口座番号を 34 文字以内で指定してください。	Id の値が 34 文字以内となっていない。	Id の値を 34 文字以内として、再実行してください。	
適法性関連情報は 35 文字以内で指定してください。	Inf の値が 35 文字以内となっていない。	Inf の値を 35 文字以内として、再実行してください。	
PrvtId は指定できません。OrgId を指定してください。	階層 Document->CstmrCdtTrfInitn->PmtInf->Dbtr->Id に PrvtId が設定されている。	必要な情報を OrgId 配下に記載して、再実行してください。	
<CdtTrfTxInf>配下の<PmtTpInf>に設定してください。 ※メッセージ内の予約文字 (<>"&)は全角で出力されます。	CdtTrfTxInf 配下の PmtTpInf ではなく、PmtInf 配下の PmtTpInf に値が設定されている。	必要な情報を CdtTrfTxInf 配下の PmtTpInf に記載して、再実行してください。	
<CdtTrfTxInf>配下の <InstrForDbtrAgt>に設定してください。 ※メッセージ内の予約文字 (<>"&)は全角で出力されます。	CdtTrfTxInf 配下の InstrForDbtrAgt ではなく、PmtInf 配下の InstrForDbtrAgt に値が設定されている。	必要な情報を CdtTrfTxInf 配下の InstrForDbtrAgt に記載して、再実行してください。	

エラーメッセージ	原因	対処のしかた	備考
<CdtTrfTxInf>配下の<UltmtDbtr>に設定してください。 ※メッセージ内の予約文字(<>'&)は全角で出力されます。	CdtTrfTxInf 配下の UltmtDbtr ではなく、PmtInf 配下の UltmtDbtr に値が設定されている。	必要な情報を CdtTrfTxInf 配下の UltmtDbtr に記載して、再実行してください。	
<CdtTrfTxInf>配下の<ChrgBr>に設定してください。 ※メッセージ内の予約文字(<>'&)は全角で出力されます。	CdtTrfTxInf 配下の ChrgBr ではなく、PmtInf 配下の ChrgBr に値が設定されている。	必要な情報を CdtTrfTxInf 配下の ChrgBr に記載して、再実行してください。	

バリデーションチェックツール 操作ガイドマニュアル

改訂履歴

項番	版数	改定日	章/項	改定理由	改定前	改定後
1	1.0	2024/5/20	-	新規作成	-	-